

# 青年海外協力隊神奈川県 OB 会 (KOCV) 通常総会 2010

## [ プログラム ]

### 1. 日時・場所

平成 22 年 6 月 20 日(日) J I C A 横浜国際センター 1 階 会議室

13:30～15:00 第一部 青年海外協力隊神奈川県 OB 会通常総会

15:15～16:30 第二部 講演会 阿部 豪一

裸足で歩いた土の味 ～画家から見た世界 21 ヶ国の空と風～

17:00～ 懇親会 (ポートテラスカフェ)

### 2. スケジュール (次第)

#### 第一部 青年海外協力隊神奈川県 OB 会通常総会

- 1、会長あいさつ
- 2、来賓あいさつ
- 3、参加者紹介
- 4、平成 2 1 年度事業報告
- 5、平成 2 1 年度決算報告・監査報告
- 6、役員等選出
- 7、平成 2 2 年度事業予定 (案)
- 8、平成 2 2 年度収支予算 (案)
- 9、来賓から事業説明
- 1 0、諸連絡

#### 第二部 講演会

阿部 豪一

裸足で歩いた土の味

～画家から見た世界 21 ヶ国の空と風～

The logo for KOCV (Kenya Overseas Cooperation Volunteer) features the letters 'kocv' in a bold, lowercase, sans-serif font. The 'k' is red, and the 'o', 'c', 'v' are black.

## 通常総会 2010 参加者

氏名	隊次	派遣国	職種
1 兄内 宏	県民局くらし文化部国際課 主幹		
2 吉浦	JICA 横浜 市民参加協力課長		
3 香月 龍太郎	社団法人 青年海外協力協会 総務部 部長		
4 奥永 眞智子	社団法人 協力隊を育てる会 総括主任		
5 齋藤 奈都子	県民局くらし文化部国際課		
6 武下 悌治	56-4		園芸作物
7 長谷川 真	63-1	ペルー・	工作機械
8 小畑けいこ		マレーシア	
9 三浦 ようこ	49-3	マラウイ	看護師
10			
11 高野 忠裕	7-1	ラオス	建築見積
12			
13 小島 海治	10-1	トンガ	音楽
14 伊藤 千晶	11-3	メキシコ	家政
15 畦地 崇敬	14-1	ブルキナファソ	植林
16 吉永 加那	13-3	コロンビア	栄養士
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 平成22年度事業報告

### 1) 広報事業

件名(活動名)	KOCV ニュース編集・発行(広報事業)	事業担当	主:事務局
実施日	4月・12月	OB会参加者	—
実施場所	—	来客数	—
活動内容及び成果	年2回会員向けの情報機関紙を発行しています。具体的な活動報告及び活動予定を掲載しています。20年度からはSELP社の会へ袋詰作業を委託しています。		
件名(活動名)	ホームページ運営(広報事業)	事業担当	主:光田
実施日	通年	OB会参加者	
実施場所	http://kocv.jp/	来客数	
活動内容及び成果	当会に関する情報アーカイブを提供する事を目的に設置しています。KOCV ニュースの詳細版の位置づけで、写真も提供しています。		
件名(活動名)	メールシステム運営(広報事業)	事業担当	主:西山、高野
実施日	通年	OB会参加者	約260名
実施場所	インターネット	来客数	—
活動内容及び成果	Free-MLという無料のネットサービスを利用しています。現在の参加者(加入者)は約260名です。年間運用実績は約50通です。Yahoo-MLへの変更を検討中。		
件名(活動名)	ビーチクリーンナップ	事業担当	主:中西
実施日	8月2日(土)	OB会参加者	8名
実施場所	辻堂西海岸	来客数	30名
活動内容及び成果			
件名(活動名)	協力隊ポスターキャンペーン	事業担当	主:会長・事務局
実施日	平成20年3月	OB会参加者	約10名
実施場所	神奈川県内	来客数	—
活動内容及び成果			

### 2) 啓発事業

件名(活動名)	中学生エッセイコンテスト	事業担当	主:竹内 奈良
実施日	5月~9月(一次審査10/19)	OB会参加者	約30名
実施場所	一次審査:みなと総合高等学校	来客数	—
活動内容及び成果	今回は応募作品が全国的に大幅増の51,666作品、神奈川県からは2,301作品あり、その作品を19人の審査員で審査しました。今回は環境がテーマだっただけに地球温暖化や京都議定書の話題が多く取り上げられていましたが、協力隊やJICAの事にはあまり触れられていなかったような印象があります。今年に限っては神奈川県の実績は、全国的な応募増に乗り遅れているため、応募勧奨や協力隊体験を伝えることが重要ではないかと感じました。		
件名(活動名)	派遣隊員との意見交換会(壮行会)	事業担当	主:スタッフ
実施日	6/16・9/18・12/16・3/18	OB会参加者	数十名
実施場所	関内	来客数	数十名
活動内容及び成果	元気に隊員を現地へ送り出すことが目的です。また、OB会の存在も知ってもらえるよい機会なのでOB会のPR効果も兼ねております。隊員の初々しい表情はいつ見ても清く、送る側の方も昔を思い出して懐かしくなりました。		
件名(活動名)	帰国表敬訪問と歓迎会	事業担当	主:スタッフ
実施日	8/8・1/27	OB会参加者	数十名
実施場所	関内駅前	来客数	数十名

活動内容及び成果	文字通り帰国隊員を迎えての歓迎会です。近年、各県共通の問題はOB、OGのOB会への参加が少ないということがあります。そのため、帰国隊員向けの歓迎会を開催してPRしておりますが、なかなか難しいのが現状です。		
件名（活動名）	JICA ボランティア家族連絡会	事業担当	主：
実施日	8月30日	OB会参加者	
実施場所	JICA 横浜	来客数	数十名
活動内容及び成果	留守家族の方に任国の様子をすこしでも知ってもらうためのご家族と最近帰国した隊員の情報交換の場です。現地での写真などを紹介しながら、住居環境、食べ物など生情報が自由に飛び交う会話は時間を忘れてしまうほど充実していました。		
件名（活動名）	KOCV パッケージ	事業担当	主：西山
実施日	通年（チャカラ実施期間 H20・3/3～12）	OB会参加者	15名
実施場所	パナマ	来客数	25名
活動内容及び成果	—パナマ民芸品チャカラのパナマ現地調査—に助成。2008年の3月、8年ぶりのパナマへの訪問がついにかないました。菊川は協力隊帰国後の2000年から、先住民ノベ・ブグレ族の作る手編みかばんの販売を、OGらと任意団体を作って続けています。		
件名（活動名）	ハイテクノロジー見学ツアー	事業担当	主：奈良
実施日	平成21年1月31日（土）	OB会参加者	約10名
実施場所	・東京電力横浜火力発電所 ・麒麟ビール工場	来客数	約20名
活動内容及び成果	この企画は、最先端の技術施設を見学しながら、神奈川県海外技術研修員との交流を深めまる目的で19年度から実施し、今回が2回目となります。 当日は雨天となりましたが多くの参加者が来てくださり、工場見学を楽しみ、研修員の皆さんとも交流することができました。 昨年同様、KOCVで大型バスをチャーターしました。午前中は東京電力横浜火力発電所「トウニー・ヨコハマ」を訪問し、発電設備や地上180mのツインタワー展望室を見学、電気の仕組みやエネルギーについて、楽しく学びました。その後、昨年と同じく麒麟横浜ビアビレッジに移動し、工場内のおしゃれなレストランで食事した後、ビールの製造工程（原料、仕込み、発酵・貯蔵、ろ過、パッケージング）を見学しました。見学後はお楽しみ？の試飲もあり、皆さん大満足の様子でした。 研修員とだけでなく、はじめて会う元隊員同士楽しく交流できたことと思います。		

### 3) 教育事業

件名（活動名）	プレゼンテーションスキルアップセミナー	事業担当	主：兼平
実施日		OB会参加者	
実施場所		来客数	
活動内容及び成果	JICA と共催で実施した。。		

### 4) 一般事業

件名（活動名）	第3回協力隊まつり	事業担当	畦地
実施日	4月19日（土）、20日（日）	OB会参加者	名
実施場所	JICA 地球ひろば	来客数	1000名以上
活動内容及び成果	今回の協力隊まつりではJICAボランティアの説明会も同時開催されました。来場者は通常の募集説明会だけでなく、各OB会のブースに立ち寄って実際に任国や活動の写真をしたり、任国の料理を食べたりしながら気軽に話を聞くことができましたようです。 KOCVではおからコロッケを販売し、二日間で 約600個を売り上げました。これを機会に “おから” とか “食糧” のことに少しでも関心をもってもらえれば今回の取り組みの大きな目的は達成できたと思います。 売上金は、19日：¥13,850、20日：¥14,000		

件名(活動名)	あーすフェスタかながわ2008	事業担当	主:吉永
実施日	5月17日(土)、18日(日)	OB会参加者	8名
実施場所	あーすプラザ(本郷台)	来客数	数千名
活動内容及び成果	<p>今回のあーすフェスタでは”おからコロッケ”を販売しました。地味なおからコロッケですが、肉ではない蛋白源であり”おから”を廃棄物とせずに有効利用したい一つの提案でした。昔は安い外国産の食糧をお金を出せばなんでも簡単に買えました。でも お金を出せばなんでも買える時代はそろそろ終焉をむかえるでしょう。日本国内で肥えた農地を直ぐに回復できるわけでもなく農家の人材がすぐに育つわけでもなく、この先食糧問題はますます危機的な問題になるかもしれませんね。おからコロッケの売上金、1日目:¥18,000(約200個)、2日目:¥14,750(約150個)(※100円/個)</p>		
件名(活動名)	オータムキャンプ ~森づくり~	事業担当	主:畦地
実施日	平成21年9月27日(土)	OB会参加者	13名
実施場所	寄(やどりき)水源林(松田町)	来客数	JOCAスタッフ10数名
活動内容及び成果	<p>KOCVでは、JOCAが参加している神奈川県水源の森づくり定着型ボランティア事業に協力しています。これは、県の水源林の一定エリアを10年間、活動フィールドとして提供を受けた参加グループが、森林づくりの目標をもって行う、主体的な活動ですが、JOCAとKOCVでは神奈川県西部の松田町寄水源林(5.9ヘクタール)をフィールドにして20年度から協働し、森づくりを始めました。今回のオータムキャンプはKOCV主催で間伐体験や森の身体検査、水質調査を行いました。当日はKOCVやJOCAスタッフが家族一緒に参加し、のこぎりを使った間伐体験では木が倒れる様子を初めて見た方もたくさんいたようです。オータムキャンプの詳細はKOCVホームページの前田さんの報告をご覧ください。</p>		
件名(活動名)	横浜国際フェスタ2008	事業担当	主:中西
実施日	11月26(土)、27日(日)	OB会参加者	約10名
実施場所	パシフィコ横浜	来客数	6,300名
活動内容及び成果	<p>KOCVブースは、壁5面を使って、デザイナー(婦人服、家政)の日下さんと伊藤さんの大活躍があって、色鮮やかなパタコンのポスターを何枚も貼り、協力隊のパネルとチャカラ、セミナーちらし、と飾りつけ、とても賑やかなブースになりました。常時3人は店番をし、パタコン(揚げバナナ)も大盛況で、両日ともお昼の3時には売り切れました。KOCV始めて以来(?)の行列のできる人気店でした。初の企画のセミナーは、20人の定員に12人とまずまずの集まりでした。特筆すべきなのは、中学生3人と高校生1人のグループで、神奈川県青少年協会海外派遣団(今夏ベトナム派遣)のみなさんが参加してくれたことです。彼らは熱心にメモを取り、活発に質問をしてくれました。畦地さんの色鮮やかなアフリカの写真を見ながら、井戸に対する質問や、森林再生事業に対する畦地さんの森に対する思い-森に触れることで大人も子どもも気持ち豊かになる-ということに対して、都会での緑についての質問、森の役割を痛感したという畦地さんの実家での洪水の話に対する質問、など多感な思いをぶつけてくれました。パタコン終了後は、チャカラ(パナマのフェアトレード商品)を並べて、販売し、15点中9点も売れました。ありがとうございました。その他にお手伝いしていただいたみなさま、どうもありがとうございました。</p>		
件名(活動名)	第5回やまと国際交流フェスティバル	事業担当	主:長谷川
実施日	2010年3月21日(日)	OB会参加者	10名
実施場所	大和駅東側プロムナード	来客数	約3,000名
活動内容及び成果	<p>第5回やまと国際交流フェスティバルは、晴天に恵まれ、多くの方々にご来場くださり、事故もなく盛大に事業を開催することができました。OB会のメンバーは、実行委員会にも数名が係わり、大和市の多文化共生を促進するため、国際交流の場を提供するという目的を達成する一翼を担うことができました。今後も協力隊事業の広報をしながら、地域社会へも貢献してゆきたいと思っております。</p>		

5) 組織強化事業

件名(活動名)	定例会	事業担当	事務局
実施日	毎月1回	OB会参加者	
実施場所	JICA横浜	来客数	
活動内容及び成果	議事内容はMLで報告しています。		
件名(活動名)	総会	事業担当	主:事務局
実施日	6月8日(日)	OB会参加者	約30名
実施場所	JICA横浜	来客数	
活動内容及び成果	<p>JICA横浜1階会議室にて13時から開始し、会長や来賓のあいさつの後、平成19年度事業・会計報告、KOCVパッケージで助成したパナマの「チャカラ」現地調査報告、平成20年度事業予定が承認されました。20年度は「使ってください活動支援費」を新たに予算化し、会員の方が自発的にやりたいと考える活動をKOCVでは、ヒト・モノ・カネ・ジョウホウの面でサポートを行います。15時からは外国籍県民かながわ会議委員の葉鳳英(ようほうえい)さん、多並のビーさん、トオナイトウイちゃんさんをお招きし、「多国籍社会KANAGAWAへ変革のとき・協力隊経験は内なる国際化にどう活かせるか」～多文化共生に向けて外国籍県民の論客が本音を語る～と題して講演いただき、その後3グループに分かれてディスカッションを行いました。</p>		
件名(活動名)	関東ブロック会議	事業担当	会長・事務局
実施日	11月22日(土)、23日(日)	OB会参加者	6名
実施場所	長野市国民宿舎永保荘	来客数	約40名
活動内容及び成果	<p>毎年持ち回りで幹事県を決めています。関東1都6県の他長野・山梨・新潟を含めたOVの代表者が会し、JOCA事業、JICA事業紹介に引続き、各県OV会の活動紹介や決算報告等が話し合われました。</p> <p>初めは、長野国際親善クラブ会長小出博治氏の「長野五輪1校1国活動とその後」というタイトルの講演で行われました。小出氏は長野五輪1校1国運動の提唱者で、彼の考え、活動は、十分我々協力隊OBの活動趣旨とも合い、とても参考になりよい講演だったと思います。ブロック会議は両日とも約2時間ずつ行われましたが、非常に熱く、かつ陰湿なムードにならず、友好的に会議が進められました。</p> <p>会議では盛りだくさんの内容が話し合わせ、特にキャラバンにおいてはかなり活発な意見が出されました。既に九州と東北の2地区は終了しているとの事でしたが、今後どのような形で宣伝活動を行っていくべきか。これも答えは出なかったと思いますが、皆さん本当に積極的な意見を出されたと思います。</p> <p>会議終了後は、協力隊OBが経営する農家に行き、りんご狩りをしながら、国際パートナーシップ事業研修員、その他関係者家族、清泉女学院大学学生その他大勢の方々と交えての交流会が行われました。餅つきあり、おでん、豚汁その他たくさん料理を野外で食べながらとても楽しい会でした。</p>		

## 使ってください活動支援費

会員が主体的に企画実施する活動（他団体主催でも可）に対して、支援および助成を行う。

最低 2 名参加するものを対象とする。（主・副担当連名による申請）

- **(ねらい)**：会員の自発的な活動への支援すると共に、OV 会活動の活性化や会員同士の繋がりの強化を促す。  
「KOCV」と「活動の担当者」の役割及び支援体制の明確化する事により、潜在的に OV 会活動を行いたい会員の掘り起こしを行う。活動地域の偏在を解消する。  
会員への「活動プランの周知」と「活動内容の報告」を徹底する。  
年度途中に企画された、総会未承認の活動へフレキシブルに対応し易くする。
- **1(活動支援)**：県内各地区で協力隊経験を地域社会へ還元できる活動の機会を増やす。国際交流・協力隊広報・イベントへの参加・開発教育・ESD 学習会・等々
- **2(懇親)**：活動を通して地域内在住会員の繋がりの強化をはかる。飲食費にも支給する。
- 1 案件につき 30, 000 円以内の助成を行う。先着順。
- KOCV の立場は主催・共催・後援・協力のいずれか、参加案内を極力配布し会員の参加を呼びかける。（「KOCV ニュース」・ML・DM 発送用ラベル・実践者ネットワークを活用）
- 主担当は会計報告を事務局へ行う。
- 下記必要事項を事前に事務局へ主担当と副担当の連名で申請。副担当が特に決まっていない場合はスタッフから選ぶ。
- 活動終了後は ML 及び KOCV ニュースへ記事として簡単な報告を掲載。事務局は活動終了後に次年度以降も継続するか等活動状況を審議する。
- 活動名・日程（または予定時期）・場所・時間・主担当・副担当・参加見込人数・会員へ案内するための活動概要・支出項目・金額・KOCV の立場・活動における主担当の立場 等様式自由、極力煩雑にしない。

## 神奈川県森林づくり定着型ボランティア事業

神奈川県では、県土の 40 パーセント近くを占める森林が手入れ不足などで荒廃が進み、「かながわ森林再生 50 年構想」を基本に、県民と一体となった森林づくりが推進されている。今回、その一環である「地域の森林づくり交流事業(新しい定着型ボランティア)」事業として、県民参加の森林づくり(森林保全)が実施されることとなった。

JOCA では、県から足柄上郡松田町寄(やどりぎ水源林で県から指定された 7ha の土地)の同事業を受託し活動を行っていく。

KOCV としても、主体的にこれらの活動に参加していく。

